

MOOG社製 MBL1750Tのご案内



ユタカ電建工業(株)

MOOG社製MBL1750Tのタダノ製BT400との比較特色

- MOOG社製品はアウトリガーを張り出すこと無く、作業時にシャーシのはエアースペンションにより車高を落とし、車体に付属してあるスタビライザー2輪を路面に設置。車両の全輪をアウトリガーとして支持し作業をおこないます。
- MBL1750Tは作業時の使用条件によりカウンターウェイトが0cm、70cm、90cm車体外に張出ますが、アウトリガーを張り出すBT400に比べ車線規制に余裕があります。
- 作業半径15mでの作業バケットの定格荷重は280kgで弊社オペレーター1名と作業員2名にて作業が可能となります（作業半径15mを超え17.3mまでの作業時は定格荷重200kgとなります）。又、作業時左右210°旋回可能であり、BT400に比べ作業効率が有利であります（BT400は190°）。
- 作業台のバケット部が2.5m上昇し、中央分離帯等の昇降差込作業において従来のBT400と比較し、作業性が向上しております。
- MBL1750Tは、旋回台に油圧のレベリング装置を装備。横断勾配未満9%での作業が可能であり、従来機種では不可能な橋梁箇所での作業が可能となります。
- MBL1750Tは最大5.3mの歩道を超えての作業も可能であり、歩道幅の広い橋梁、橋梁外部に設置物がある橋梁で従来の機種で不可能であった橋梁の点検も可能となります。
- 作業最大深度20.9mとBT400に比べ3.5m深い橋桁エリアでの作業が可能となっております。

タダノ製BT400との比較表

	MBL1750T	BT400
作業可能最大差込長	17.3m (積載荷重15mまで280kg、 15m以上200kg)	15m (積載荷重300kg)
最大可能横断勾配	9%	6%
アウトリガー	無	有 (最大車体より1.03m張出)
カウンターウエイト	有 (作業設定により0cm、60cm、 70cm、90cm車体より張出)	無
ブーム旋回作業半径	左右各110°	左右各前方アウトリガー後方より 95°
バケット昇降	有 (2.5m)	無
バケット回転	無	有 (右100° ~左90°)
追越車線作業 (右出し)	可能	可能
セカンドブーム長	3.86m	7m
プラットフォームアタッチメント	有	無



MBL1750Tも他のMOOG社製品同様に、アウトリガーを張り出すこと無く設置作業が可能であり、路肩沿いに可能な限り車体を寄せることができ、車線規制に余裕ができます。



同機は、他のMOOG社製品同様に、作業時にエアーススペンションにより車体の車高を落とすことにより、車体に付属してあるスタビライザー2輪を路面に設置、車両の4輪（12輪）をアウトリガーとして支持し作業をおこないます。

カウンターウエイト最大張出時



カウンターウエイト最小張出時



カウンターウエイト右張出時



同機は、カウンターウエイトが、最小張出現場作業時（第一ブームの伸縮不可）には車体より20cm、追越車線作業時（右張出作業時）には70cm、歩道幅5.3m対応の作業時にはアウトリガー最大張出となり90cm車体外に張出ますが、アウトリガーが無く、路肩ぎりぎりに車体を寄せることができるため、BT400に比べ作業時の車線規制には各設定時とも余裕が有ります。
※カウンターウエイト最小張出時は歩道幅3.5m対応の作業となります。

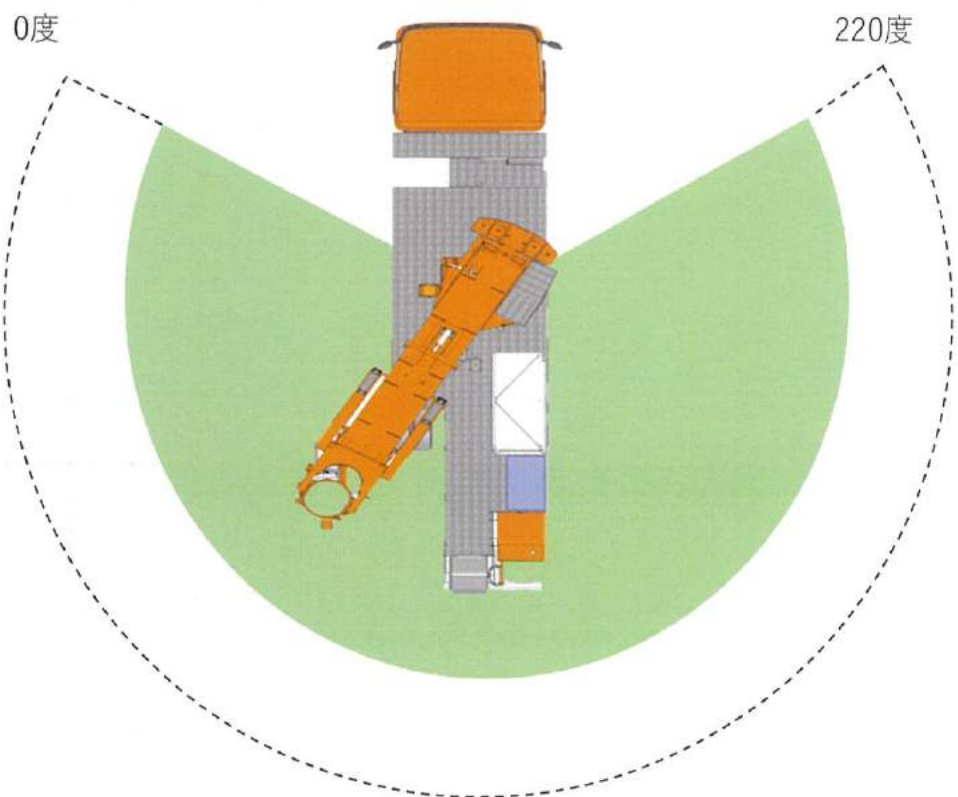


同機はメーカー研修を終え、ライセンスを取得した弊社オペレーター2名にて作業させていただきます。

MBL1750Tの差込長15mの作業台バケット部の定格荷重は280kgとなり、弊社オペレーター1名と作業員2名にての作業となります（作業半径15mを超え17.3mまでの作業時は定格荷重200kg）。

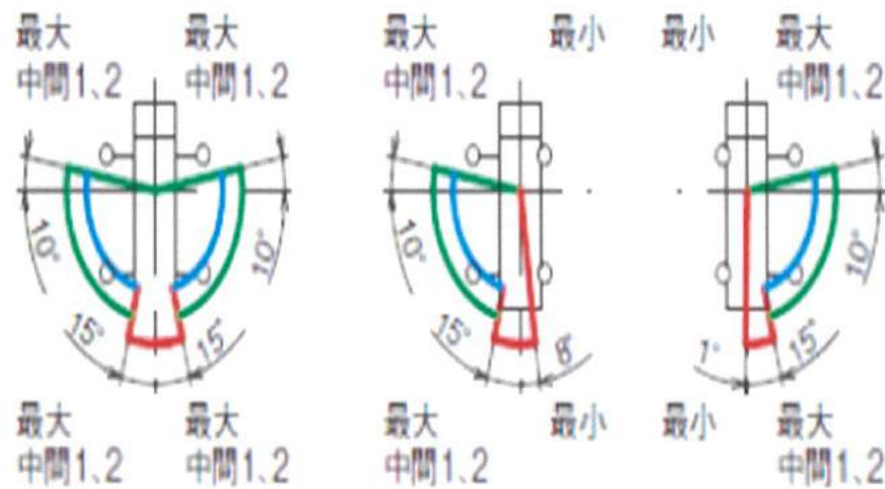


MBL1750T、BT400旋回半径図



MBL1750T旋回半径図

アウトリガ張出状態により旋回可能範囲が異なります。
 アウトリガ張出状態と旋回可能範囲の例を下図に示します。
 ・緑色はアウトリガ最大張出
 ・青色はアウトリガ中間1、2張出
 ・赤色は後方性能の旋回可能範囲を表しています。

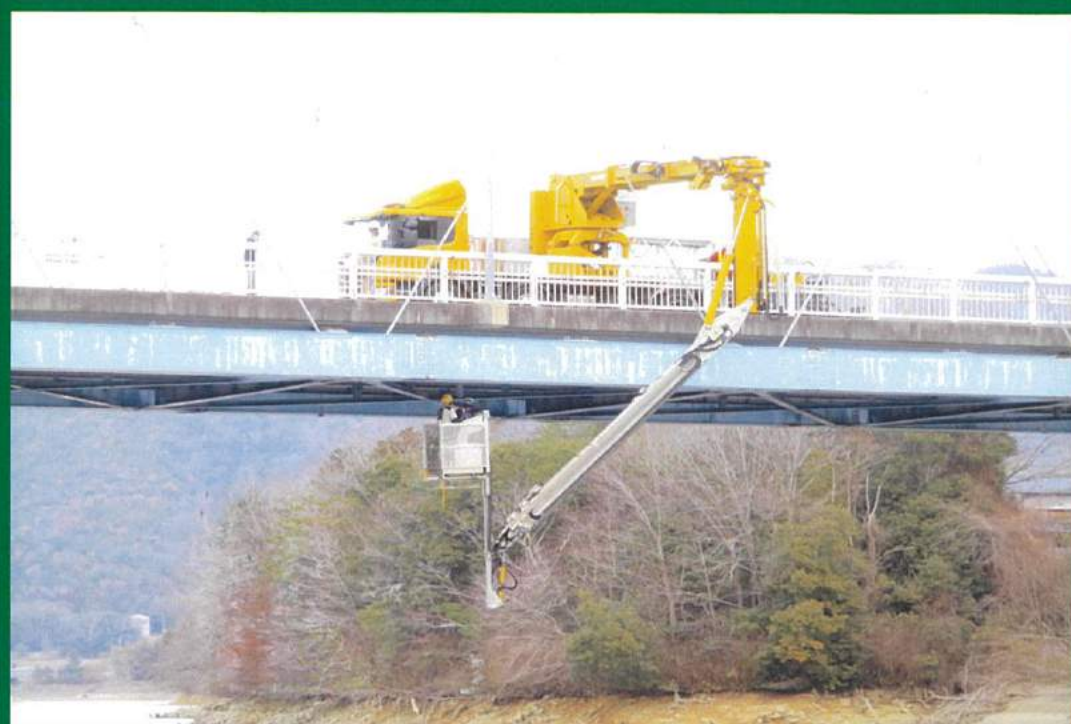


BT400旋回半径図

旋回作業半径の比較では、MBL1750Tの旋回角度は左右各110°、BT400の旋回角度が左右各95°とMBL1750Tが左右各15°旋回角度が広く第一ブームの先端軌道で約2mの稼働距離の差があり、加えてブーム長17.3m（BT400より2.3m長い）により、作業半径、作業深度等の現場での設置後の移動回数を含め作業効率が良い、作業工程の短縮が見込めます



同機の第2ブーム長は最小縮時3.86m
（最大伸時7.7m）、BT400（BT400は
6.96m）に比べ第2ブームが短く、油圧
伸縮するため、作業性能に優れ短時間
でのトラス橋、ルーメン橋などの差込
作業が可能となっております。



同機は作業台のバケット部が2.5m上昇し、最大17.8mの差込が可能な為、中央分離帯等の昇降差込作業、ボックスの作業において従来のBT400と比較し、作業性が向上しております。





通常時旋回姿勢



左勾配時作業姿勢

同機は、旋回台に油圧式レベリング装置を装備しており、車体に対して旋回台の角度を変えることにより、横断勾配最大9%までの現場での作業が可能であり、従来の橋梁点検車では困難であった橋梁箇所での作業が可能あります。



右勾配時作業姿勢



同機は、車体に積載しているアタッチメントを装着することにより、BT200、BT110、SF等で作業が困難であった横断勾配9%以下の現場での作業が可能となります。



同機は、カウンターウエイト最大張出時に、最大5.3mの歩道を超えての作業が可能であり、歩道幅の広い橋梁、歩道外に水道、ガス管やケーブル管などの設備のある橋梁で、従来の大型橋梁点検車で困難であった橋梁の点検も可能となります。



左BT400、右MBL1750T 作業深度比較

同機は作業最大深度20.9mとBT400に比べ3.5m深い橋桁エリアでの作業が可能となっております。

弊社保有大型橋梁点検車ラインナップ

タダノ製	BT400	3台
ドイツMOOG製	MBL1750T	1台
ドイツMOOG製	MBI 150	1台
ドイツMOOG製	MBI 160 (歩道対応)	1台
ドイツMOOG製	MBI 160	2台
ドイツMOOG製	MBI 170	1台
ドイツMOOG製	MBI 170 (スカニアシャーシ)	1台
ドイツMOOG製	MBI 180 (スカニアシャーシ)	1台
ドイツMOOG製	MBI 200 (スカニアシャーシ)	1台

ご用命お待ちしております。

お問い合わせ先
〒566-0062
大阪府摂津市鳥飼上4丁目1番37号
ユタカ電建工業株式会社
TEL 072-654-1619
武村・道田・佐藤